

# 町長、外務省沖縄事務所・沖縄防衛局へ要請

— 基地問題について訴える —

## 各省等への主な 要請事項

### 外務省、外務省沖縄事務所、防衛省、 沖縄防衛局（共通）

#### 1. 航空機騒音対策について

- (1) 「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」の厳守
  - ①22:00～06:00の間の飛行及びエンジン調整等の禁止
  - ②F-15戦闘機等の離陸時の南側滑走路の使用及び急旋回の禁止または海上実施
  - ③居住地上空の飛行禁止
  - ④基地周辺での回転翼機の飛行訓練の禁止
- (2) 旧海軍駐機場の再使用の禁止
- (3) 騒音軽減への実効性ある訓練移転について
- (4) 大型機駐機場での22:00～06:00の間のエンジン調整等の禁止

#### 2. 基地負担の軽減等について

- (1) 第353特殊作戦航空団駐機場等拡張整備計画に伴う通称パパループの使用の禁止、MV-22オスプレイやMH-60等による通称パパループの使用の禁止
- (2) 嘉手納基地使用協定の早期締結
- (3) 外来機の運用・訓練及び自衛隊による共同使用の禁止

#### 3. 早期警戒管制機E-3の駐機場の移転等について

#### 4. 航空機事故等の防止対策について

航空機や施設の安全管理等の事故防止対策の徹底及び訓練・事故の通報体制の継続強化

#### 5. 基地内訓練等による被害の予防対策について

パラシュート降下訓練、即応訓練及び滑走路修復訓練等の禁止

#### 6. 環境汚染等について

嘉手納基地周辺の河川及び湧水等における有機フッ素化合物（PFOS等）汚染に対する沖縄県の基地内立入り調査への協力及び汚染物質除去のための適切な措置の実施

### 防衛省、沖縄防衛局

#### 1. 航空機の騒音及び排気ガス等の予防対策について

- (1) 航空機排気ガスに対する常時監視調査や健康被害調査の実施
- (2) 全防音住宅に対する空調施設維持管理費（電気料金）の助成または太陽光発電システムの設置助成
- (3) 防音工事の建築対象年月日の撤廃、町内全ての認可外保育園及び店舗、事務所等へ防音対策事業の助成

#### 2. 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額について

當山宏町長は、9月17日、<sup>はしもとなおゆみ</sup>橋本尚文特命全権大使（外務省沖縄事務所）、<sup>おのいさお</sup>小野功雄局長（沖縄防衛局）のもとを訪れ、「嘉手納基地に関する諸問題」について要請を行いました。例年ならば、外務省と防衛省へも出向いて同要請を行っているところですが、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、外務省と防衛省に対しては要請書の提出にて要請を行っています。

今回は、航空機騒音対策、基地負担の軽減等、早期警戒管制機E-3の駐機場の移転等、航空機事故等の防止対策、基地内訓練等による被害の予防対策、環境汚染等などについての要請を行いました。中でも特に、航空機騒音規制措置の厳守、第353特殊作戦航空団駐機場等拡張整備計画に伴い新たな騒音発生の原因となっている通称パパループの使用の禁止、外来機の運用等の禁止、悪臭の主な原因とみられるE-3の駐機場移転等について強く求めました。

要請事項について、橋本特命全権大使は、「今日いただいた内容については防衛局と連携しながら働きかけていきたい。また、申入れの時には具体性を持たせた形で話ができればと考えている。」と回答しました。小野局長は、「騒音規制措置については順守するようしっかり申し入れたい。パパループについては、我々も町の問題意識はよく認識しており、米側に具体的な状況を確認してやりとりしている。悪臭の問題についても実感として理解しており、実現可能性のある案を検討している。パパループと悪臭の問題は早期に目に見える形で進展があるように最大限努力をしている。」と回答しました。



橋本特命全権大使（右）に要請書を手渡す當山町長



小野局長（左）に要請書を手渡す當山町長